

## 子どもたちに囲碁を普及

東京都・八王子市 信江 峻さん

私が所属する八王子囲碁連盟は会員約 400 名、平均年齢 75 歳で若返りが課題でした。囲碁の町平塚の「千面打ち」を見学し、子供たちが 9 子の置き碁でプロに挑戦し、家族と後ろに見物人が大勢応援しているのに驚き、小学生の教育が第一だと思いました。



平成 24 年に第 1 回「八王子子ども囲碁大会」を開催したところ、参加者はわずか 18 名でした。翌年私が会長になり、日本棋院支部と「指導者の会」を設立し裾野拡大を目指しました。

- ① 「子ども囲碁大会」は引き続き毎年実施し、全員に日本棋院の級位認定状を与えており大変好評です。
- ② 「子ども囲碁教室」を作り、市が主催する春休み・夏休み囲碁教室の受け皿としました。
- ③ 「放課後囲碁教室」をつくることとしました。学校は個人情報に厳しく、閉鎖的で教室の設置は難航しました。



数年間は毎回教材や自宅の碁石・碁盤を持参し、顧問先生の代役も務めました。熱心な生徒・父兄の協力を得て学校を開拓していきました。

「子ども囲碁大会」も第 8 回を終え、参加者が 64 名にまで増えました。子供の呑み込みは早く、市民大会や級位者大会にも子供が参加して活躍するようになりました。とりわけ今年度は、3 年前に 7 級であった子 3 人が切磋琢磨し、市民大会に 7 段で出場します。また、今年 10 歳（5 年生）の子が院生（プロの卵）に合格しました。私も日本棋院から「囲碁普及活動賞」をいただきました。熱心な子供たちのお陰です。

「放課後囲碁教室」は現在 27 校で 60 名が指導に当たっており、累計 3,500 名の子ども達が学んだこととなります。私も 90 歳になりましたが、5 教室を担当しております。誰とも仲間になれ老後も楽しめる囲碁を、いつか一生の趣味にしてほしいと願うものです。(了)

